

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス くすの木			公表日		2026年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		室内活動には問題ありませんが、運動のスペースが確保できないため、プールや諏訪道場など利用しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		サービス提供時間中は、法定基準2名にプラスの職員を配置しています。野外活動や個別対応が必要な場合はさらにプラスの職員を配置しております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			利用しやすいように配慮はしておりますが、建物の構造上玄関に段差があります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日消毒液で床や壁面ドア等拭き掃除をしております。毎週末整理整頓をして、スペース確保に努めています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンが必要な場合は、個室を利用します。			
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		送迎前に申し送り・送迎後の振り返りを行っています。月1回以上職員に寄る支援会議を行っております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所独自のアンケート調査及び感想などを参考にしながら業務改善につなげています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎後の振り返り時や支援会議などに加え、いつでも意見を出し合える環境整備をしています。良い提案は外部評価は行っておりません。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部の研修に参加したり、事業所独自の研修を定期的に行っています。			
適切 な 支 援 の 担 担	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公開しております。URL https://kusunoki123.com			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		作成しております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		検討した上で作成しております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月職員会議を行い職員間で確認しあっております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムの見直しなどは、職員会議などで行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こども会議を行ったりして子どもたちの意見を聞き、楽しみながら参加できるようにしています。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス くすの木		公表日		2026年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		活動プログラムについては、子どもたちから意見を聞き楽しみながら参加できるようにし、利用者の個別支援プログラムも考慮しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		送迎前に安全に活動が出来る様十分な打ち合わせをしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了後に、利用児童全員の支援目標の内容やその日の様子、保護者との会話等話し合いをしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		児童の支援については、記録し検証・改善につなげています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必要に応じて見直しを行い計画を立てています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日常生活活動・自立生活を目指した活動支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校からの安心メールを活用し、行事予定や下校時間の変更などを共有しています。保護者様都の確認が必要な場合は連絡させていただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		書面あ電話で情報共有をさせていただいています。今後必要に応じて情報共有し面談をさせていただきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		送り出す際に事業所さんへ情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修に積極的に参加しております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園や地域等では、地域の子どもたちや他の放課後等児童クラブの子どもたちとも一緒に遊んだりしています。広報誌等で随時紹介してまいります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会などに参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や必要に応じて電話連絡をしたりしながら、発達状況をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	現在は行っておりませんが、今後ご家庭の状況や状態に応じて行く予定です。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時やご相談された場合に面談にて対応しております。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス くすの木		公表日	2026年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		半年に一回面談を行っておりその際に計画書を提示しながら同意いただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの要望や悩みについてお話を聞き、職員とも話し合い返答対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		令和7年度は、12月に親子レクリエーション（まんじゅう作り）を開催しました。ゆっくりと保護者同士交流する時間があり、情報交換をさせていただきました。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情だけではなく、要望・相談についても迅速に対応しております。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1回会報を発行またHPにも定期的に活動の様子をお伝えしています。連絡体制については、会報内のお知らせや保護者へのメールにて案内しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員への研修及び個人ファイルの外部持ち出し禁止など十分に気を付けております。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ボランティア活動を通して、地域との関りを図り地元の方々にも感謝の声を頂いております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		個々にマニュアルは作成しております。職員会議等でマニュアルの確認を定期的に行っております。保護者様には契約・面談時にもお伝えしております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）は、専門の方に相談し作成頂いたマニュアルを元に避難訓練をおこなってます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		年に1度、年度初めに確認をしております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書は無いが、保護者から丁寧な聞き取りを行っております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルを作成し、職員会議や訓練等を行っております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ミーティングや記録を行いながら、情報共有しています。また報道や新聞などでのヒヤリハットと思われる事例の記事を集め、事例集を作成し、ミーティング時に活用しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス くすの木		公表日		2026年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年研修を受けた後、社内研修も行っております。		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				